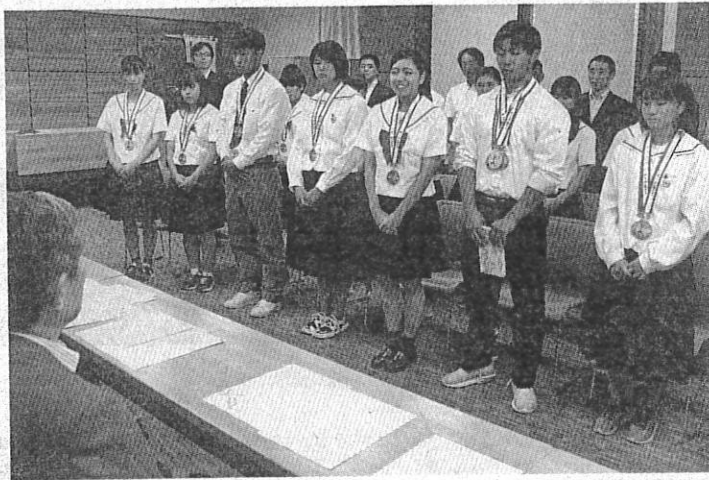


全国上位入賞を報告 知事に紀南の高校生ら



仁坂吉伸知事(手前)らに全国大会上位入賞を報告する高校生。代表して神島の碓井晴捺さん(前列左から5人目)が謝辞を述べた11日、県庁で

県高校総合体育大会(インターハイ)や文化関係の全国大会で、上位入賞した紀南の高校生らが11日、県庁の仁坂

3人らが喜びを報告した。文化関係では、写真のほか、フープロやラジオドラマ、アマチュア無線などで全国3位以内に入った高校生が訪れた。

紀南からは「写真甲子園」優勝の神島写真部、宮崎美奈さん(3年)、岡崎ひなたさん(2年)、伏見凜音さん(2年)が訪問し、3連覇したことを伝えた。仁坂知事は受賞を喜び「すごいですね。写真は才能やひらめきによるのかなと思うが、神島で優勝が続いているのは、先輩から後輩にちゃんとこころやったりいとか、教えてくれて技量が上がってくるのですね」と話した。

総体関係では、紀南からも多くの生徒が訪問した。弓道競技・女子の部個人競技では、神島の碓井晴捺さん(3年)が準優勝。この部門では、新宮の選手の3位が県勢最高順位だったが、47年ぶりに塗り替えた。少林寺拳法競技・女子団体演武では、神島が決勝

で春の選抜大会優勝校に惜しくも敗れたが、準優勝を果たした。メンバーは小川愛理沙さん(3年)、吉岡彩月さん、小田愛里さん、村上冬音さん、中山侑香さん、垣本柚香さん、古久保宇紅さん、森澤日菜さん(以上2年)。カヌー競技・男子カヤックシングル500mでは、田辺工業の富塚晴之君(3年)がトップにわずか0.2秒及ばなかったが準優勝を果たした。

このほか、紀南以外からフエンスシングやウエートリフティング、相撲などの上位入賞者も訪れた。

最後に、神島の碓井さんが選手を代表し「今後は国体やオリンピックを目指す」と抱負を述べた。